

# モルタルラミテクト®

## 施工説明書 施工業者様用

### 施工する前に

#### ●用意するもの

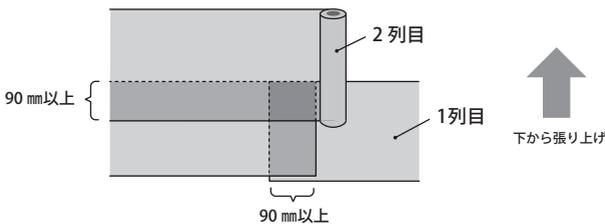
当商品、メジャー、カッターナイフ、ガンタッカー

#### ●施工前の注意事項

- (1) 当商品には、表と裏があります。印刷面を屋外側にして施工してください。
- (2) 当商品の内側の柱・面材等に、シロアリ用防蟻剤及び防腐剤等を使用される場合、十分乾燥していることを確認してからシートを施工してください。

### 施工方法

- (1) 張り方は横張りを原則とし、下から張り上げてください。  
シートのジョイント部分は長手方向、幅方向ともに90mm以上重ね合せてください。長手方向はなるべく大きく重ね代を取ってください。



- (2) タッカー釘のピッチは約300mm間隔とします。  
タッカーで打ち付ける際、打ち付け方が強すぎると破れる恐れがありますのでご注意ください。
- (3) 出隅、入隅等は特に防水上の欠陥が生じやすいので、透湿防水シートを500mm以上重ね合わせて二重張りとしてください。

- (4) サッシ、木枠等の開口部周りは、密着させるため、弊社『ラミテクト防水テープ』、『ラミテクト防水テープAK』又は、幅50mm以上(幅75mm以上が望ましい)の両面防水テープをご使用ください。  
※なお、ブチルテープにつきましては、気温により粘着力が変化することがあります。その場合はアクリルテープをご使用ください。

- (5) シートは張りのある素材で出来ているため、サッシ、木枠等で入り組んだ部分に施工した場合、防水テープがはがれやすくなる場合があります。その際は、シートの上面からもブチル系またはアクリル系の片面テープで押さえてください。

- (6) シートが風によってバタつかないように張り付け、端末の処理は固定処置を施してください。

- (7) 生産上、シートの繋ぎ箇所のある製品がありますが、左右重ねが150mm以上確保されており、防水性に問題ありませんので、通常通り施工してください。

#### ●施工時の注意事項

- (1) 小巻作業する場合は、道路上や突起物のある物の上では行わないでください。シートに傷が付く恐れがあります。
- (2) 木材の角や鋭利なもの(カッター、ハンマータッカーの角部、カナヅチ等)での傷、酸・アルカリ・溶剤等、薬品の付着により、傷が付く恐れがあります。シート表面に傷が付いた場合には、防水テープで補修するか、張り替えてください。
- (3) 粘着テープの貼り直しが必要な場合、十分に注意してください。シートのやぶれ、はがれ、剥離等につながる恐れがあります。シートに傷がついた場合は、(2)と同様の方法で補修してください。
- (4) 強く擦るとシートが傷つく恐れがあります。シートに傷がついた場合は、(2)と同様の方法で補修してください。

#### ●施工後の注意事項

- (1) 施工後30日以内に外壁材施工を終了させてください。
- (2) 施工後直ちにラス留めつけを行ってください。
- (3) 当商品の外側に防蟻・防腐処理された胴縁等の材を使用される場合、その材を雨に濡らさないように注意してください。
- (4) 当商品に、発泡ウレタン系の断熱材は直接吹き付けしないでください。通気層をふさぐ恐れや、シート変質の危険性があります。

その他、ラス、石膏、モルタル塗りなど施工注意事項につきましては、住宅金融支援機構共通仕様書「モルタル下地ラス工法」を参照してください。

### 安全作業上の注意

#### 安全のために必ずお守りください。

**⚠ 注意** 誤った取扱により重傷または家具・家財などの損害に結びつくもの **⊘** 「してはいけないこと」をさします。

- ⊘ 目的用途(湿式外壁の防水シート)以外での使用はしないでください。  
・滑りやすいので、上に乗らないようにしてください。

#### お願い

- 当商品の保管は、横積みとし、13ケース以上積まないでください。
- 当商品は、長時間直射日光に当たる場所及び水に濡れる所には放置しないでください。
- 当商品は、高熱(110℃以上)によって溶けますので、火や高熱物を近づけないでください。
- 廃棄の方法は、一般的な産業廃棄物と同様に取り扱ってください。その他関係法令の定めるところに従ってください。